

科目名	スポーツ実技 I	英文表記	Physical Education I	2012年3月18日		
科目コード	3009					
教員名: 末吉 つねみ 技術職員名:				作成		
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	3年	必	履修	1単位	実技	前期
科目目標	各スポーツの実践方法、基本ルール及び基本技術を習得する。自己の体力が評価できるようにする。生涯にわたり自発的にスポーツを実践し、継続して身体活動を行う習慣を身につける。スポーツやトレーニングを自然科学的な観点から捉えられるようにする。					
総合評価	各種目のスキルテスト60%+振り返りカード15%+各種目のグループ学習への取り組み状況20%+観察評価5%					
達成度目標と評価方法	科目達成度目標		達成度目標の評価方法			
	①	各スポーツの実践方法、基本ルール、基本技術を習得する。	⇒	各スポーツのスキルテスト。観察で評価する。		
	②	チームの戦術研究、作戦の立案を反省を通して、コミュニケーション能力を自己学習能力を身につける。	⇒	各種目のグループ学習への取り組み状況(学習カード記入)、毎時間の振り返りカードの記入で評価する。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4		
		○		◎		
授業概要、方針、履修上の注意	<p>【授業概要と方針】 各スポーツのルールやマナー、安全対策について学習する。 各スポーツ種目の学習はグループ学習を基本とする。球技ではチーム戦術研究、作戦の立案と反省を通してコミュニケーション能力と自己学習能力を身につける。</p> <p>【履修上の注意】 ・実技では半袖シャツと短パン(ハーフパンツ可)を着用すること。 ・アクセサリや腕時計等は安全のため外すこと。 ・やむを得ない事情によって見学を希望する場合は、授業開始前に見学届を提出すること。</p>					
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>各スポーツの基本ルールと技術についてのプリント(教員自作)</li> <li>作戦及び自己評価カード(教員自作)</li> <li>参考:「アクティブスポーツ」(大修館書店)</li> </ul>					
<b>授 業 計 画</b>						
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		自学自習 (予習・復習)内容	
1	授業ガイダンス・バレーボール	2	基本技術(サーブ、レシーブ)を習得する。試合を行う。			
2	バレーボール	2	基本技術(サーブ、レシーブ)を習得する。試合を行う。			
3	バレーボール	2	基本技術(サーブ、レシーブ、トス、スパイク)を習得する。 スキルテスト、試合を行う。			
4	バレーボール	2	基本技術(サーブ、レシーブ、トス、スパイク)を習得する。 スキルテスト、試合を行う。			
5	バレーボール	2	作戦の立案及び試合を通して実践能力を身につける。			
6	バドミントン	2	基本技術(ストローク、サービス)を習得する。試合を行う。			
7	バドミントン	2	基本技術(ストローク、サービス)を習得する。試合を行う。			
8	バドミントン	2	試合(主にダブルスゲーム)を通して実践能力を身につける。 スキルテスト、試合を行う。			
9	バドミントン	2	作戦の立案及び試合を通して実践能力を身につける。			
10	空手	2	基本動作(つき、けり、受け)を習得する。空手の型を覚える。			
11	空手	2	基本動作(つき、けり、受け)を習得する。空手の型を覚える。			
12	空手	2	グループで発表する。			

13	水泳	2	クロール・平泳ぎの基本技術を習得する。	
14	水泳	2	クロール・平泳ぎの基本技術を習得する。	
15	水泳	2	クロール・平泳ぎの基本技術を習得する。記録を測定する。	
期末	期末試験	[2]		
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
期末	期末試験	[2]		
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
備考欄				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)



